

「今後のがん研究のあり方について(報告書案・暫定版)」

に関する主な御意見

求められる研究(具体的な研究事項等)について

【求められる研究】

- 治療の副作用対策を含めた研究開発の項目を設けてはどうか。
- 支持療法に関する研究項目について追記してはどうか。
- 医療者のスキルアップのための教育について、看護師による生活支援のあり方の教育に関する研究を追記してはどうか。
- 障害者のがん検診やがん治療についての研究も念頭においてはどうか。
- 患者の立場からは高額医療対策についても言及することが必要だと考える。
- がん教育に関する研究の推進も必要ではないか。
- 小児がんに関しては、「就学など社会的問題について社会の理解を得るための普及・啓発等に関する研究」を記載してはどうか。
- 小児がんについて、「緩和医療の研究」、「終末期の小児がん患者及びその家族のための支援、及び、最適な環境整備に関する研究」を追加してはどうか。
- 高齢者のがんについては、認知症等併存疾患を考慮した研究に関して記載してはどうか。
- 高齢者のがんに関する研究として、「安らかに最期の日々を送れるための看取り」に関する項目が重要だと考える。
- がん検診の受診率向上施策など、社会制度に関する研究を記載してはどうか。

- 政策研究においては国民のがんにおける知識レベル・関心度の把握と目標値の設定が必要と考える。
- 就労の問題について、患者目線での社会的問題と企業目線での支援負担の両面理解からの研究が必要だと考える。
- がん教育、就労問題に関しての企業アクションの活用、拡大に向けた研究が必要だと考える。

研究の効果的な推進のための基盤について

- 幅広い分野の柔軟な発想を持った人材の育成には、看護学も含めるべき。
- 人材育成に関しては、文部科学省のがんプロフェッショナル養成プランの貢献が大きく、当該事業についての記載を追加してはどうか。